

線形代数学・同演習 A

4 月 26 日分 演習問題

1. 一般の線形写像 $f: \mathbb{R}^n \rightarrow \mathbb{R}^m$ が与えられたとき, ある $m \times n$ 行列 A が存在して, $f(x) = Ax$ となることを示せ.
2. $D = \{(x, y); 0 \leq x \leq 1, 0 \leq y \leq 1\}$ を単位正方形, K を 4 点 $(0, 0), (1, 2), (0, 4), (-1, 2)$ を頂点とする菱形とする. このとき, D を K に写すような平面の線形写像をすべて決定せよ.
3. 次の 2 次正方行列の固有値および固有ベクトルを求めよ.

$$(1) \begin{pmatrix} 1 & -1 \\ 0 & 1 \end{pmatrix} \quad (2) \begin{pmatrix} 4 & 1 \\ 7 & -2 \end{pmatrix} \quad (3) \begin{pmatrix} 2 & -3 \\ 4 & 2 \end{pmatrix} \quad (4) P(\theta) = \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix}$$

定義. 直線 (もしくは平面) に関する鏡映写像とは, その直線 (平面) に関する折り返しを与える写像のこと. 例えば, 直線 $y = 0$ (つまり x 軸) に関する鏡映写像は, $(x, y) \mapsto (x, -y)$ である.

4. 次の直線に関する鏡映写像を行列を用いて表せ.

$$(1) l_1: x + y = 8 \quad (2) l_2: ax - y = b \quad (a > 0)$$

5. 次の平面に関する鏡映写像を行列を用いて表せ.

$$(1) \pi_1: x + y + z = 8 \quad (2) \pi_2: 2x - 4y + z = 5 \quad (3) \pi_3: x + y + az = a \quad (a > 0)$$

6. 二つの空間ベクトル $\mathbf{a} = {}^t(a_1, a_2, a_3)$, $\mathbf{b} = {}^t(b_1, b_2, b_3)$ の外積 $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ を考える. ただし, \mathbf{a}, \mathbf{b} は平行ではなく, どちらも $\mathbf{0}$ ではないとする.

- (1) 原点 O を通り, 方向 \mathbf{a}, \mathbf{b} を持つ平面は次に表わされることを示せ:

$$(a_2b_3 - a_3b_2)x + (a_3b_1 - a_1b_3)y + (a_1b_2 - a_2b_1)z = 0.$$

- (2) $(a_2b_3 - a_3b_2)^2 + (a_3b_1 - a_1b_3)^2 + (a_1b_2 - a_2b_1)^2 = \|\mathbf{a}\|^2\|\mathbf{b}\|^2 - (\mathbf{a}|\mathbf{b})^2$ を示せ.

- (3) $\|\mathbf{a}\|^2\|\mathbf{b}\|^2 - (\mathbf{a}|\mathbf{b})^2 = \|\mathbf{a}\|^2\|\mathbf{b}\|^2 \sin^2 \theta$ を示せ. この問題 (1)–(3) より, 次を得る^{*1}:

$$\mathbf{a} \times \mathbf{b} = \begin{pmatrix} a_2b_3 - a_3b_2 \\ a_3b_1 - a_1b_3 \\ a_1b_2 - a_2b_1 \end{pmatrix}.$$

この結果を用いると, (2) の等式は $\|\mathbf{a} \times \mathbf{b}\|^2 = \|\mathbf{a}\|^2\|\mathbf{b}\|^2 - (\mathbf{a}|\mathbf{b})^2$ と書ける.

- (4) $\mathbf{a} \times \mathbf{b} + \mathbf{b} \times \mathbf{a} = \mathbf{0}$ を示せ.

- (5) $(\mathbf{a} \times \mathbf{b}) \times \mathbf{c} + (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) \times \mathbf{a} + (\mathbf{c} \times \mathbf{a}) \times \mathbf{b} = \mathbf{0}$ を示せ^{*2} (Jacobi の恒等式).

^{*1} 法線ベクトルは平面と垂直なベクトルであるが, この平面は 2 つのベクトル \mathbf{a}, \mathbf{b} を含むので, これら 2 つのベクトルと垂直になっている. よって $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ はこの法線ベクトルのスカラー倍であるが, (2) よりそのスカラーは 1 で良いことが分かる. (実はまだ不十分で, 符号を確認しないとイケない. これには“行列式”の概念が必要なので, ここでは深入りしない. ここに簡単に書いておくと, 外積 $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ の方向は $\det(\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{a} \times \mathbf{b}) > 0$ となるように取っている.)

^{*2} 上の結果を用いて良い.